

議会だより

令和7年5月号

もろっか

令和7年
第185号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



荒谷小学校入学式



諸塚小学校入学式



諸塚中学校入学式

ご入学
おめでとうございます
じやいます



もくじ

令和7年第1回諸塚村議会	
定例会	2
当初予算	3
総括意見・個別意見	4
一般質問	5
総括質疑	7
議会活動報告	10

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 ☎(0982)65-1130

議案の概要

令和7年第1回諸塚村議会定例会

(会期: 3月12日~21日)

予算認定8件、補正予算7件、条例13件、教育委員会の委員の任命同意1件が提出され審議が行われた。

令和7年度 一般会計予算及び特別会計予算

一般会計	40億8千500万円
7 特別会計	10億8千889万8千円

令和7年度一般会計予算額は、昨年55億3900万円より、14億5千400円、率にして26.3%の減額となったが、令和5年度及び令和6年度からの繰越事業を含めると、70億円を超える過去最大の執行予算規模となる。

令和7年度 予算額

諸塚村一般会計	40億8千500万円
国民健康保険特別会計	2億8千550万円
後期高齢者医療特別会計	3千860万円
介護保険特別会計	2億7千647万1千円
国民健康保険診療所事業特別会計	3億6千600万円
簡易水道事業会計	6千277万1千円
特定環境保全公共下水道事業会計	5億25万7千円
電気事業会計	929万9千円

令和6年度 補正予算額

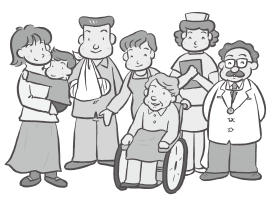
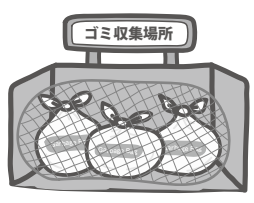
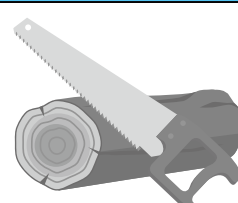
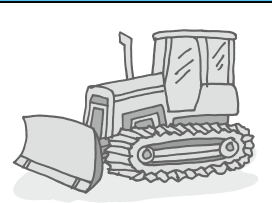
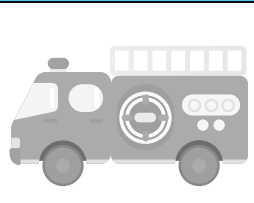
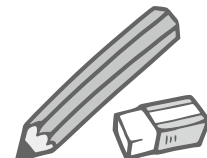
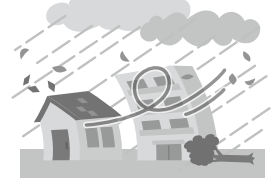
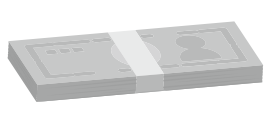
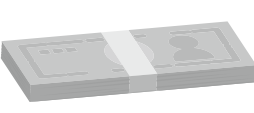
項目	補正額	予算総額
諸塚村一般会計	△3億5千600万円	67億6千300万円
国民健康保険特別会計	4千660万円	3億6千970万円
介護保険特別会計	0円	3億852万5千円
簡易水道事業特別会計	179万6千円	4千488万8千円
公共下水道事業特別会計	△290万円	3千79万9千円
国民健康保険診療所事業特別会計	2千400万円	3億9千400万円
発電事業特別会計	△810万円	884万2千円

40億8千500万円(当初予算)

令和7年度一般会計予算

令和7年 第1回定例会

(前年度 55億3千900万円 対前年度比 14億5千400万円 26.3%減)

議会費	総務費	民生費	衛生費
 4,824万円	 6億3,999万円	 4億3,146万円	 1億8,192万円
農林水産費	商工費	土木費	消防費
 5億9,322万円	 6,806万円	 2億1,382万円	 3,024万円
教育費	災害復旧費	公債費	予備費
 2億5,462万円	 10億8,029万円	 3億5,015万円	 1,000万円

※今回の当初予算の特徴は、災害復旧費が全予算の26.4%を占めている。

- ・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
 - ・諸塚村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村介護保険条例の条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 - ・諸塚村公共下水道事業減債基金条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・諸塚村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
- 以上の議案が上程され、原案どおり可決成立された。

総括意見

国は、令和7年度予算編成の最重要課題として、足元の物価高、賃金や調達価格の上昇に対応しつつ、デフレを脱却し、新たなステージとなる「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を実現することを目指すとしている。

施策の方向性として、地方こそ成長の主役であるとし、ICT技術も活用しながら、新たな地方創生施策「地方創生2.0」を展開する。また「新しい地方経済・生活環境創生本部」において、今後10年間集中的に取り組む基本構想を策定し、日常生活に不可欠なサービスの維持向上、医療・介護の提供体制の確保、新たな需要創出や生産性向上につなげる地方創生の交付金を当初予算で倍増することを目指して、取り組むとしている。

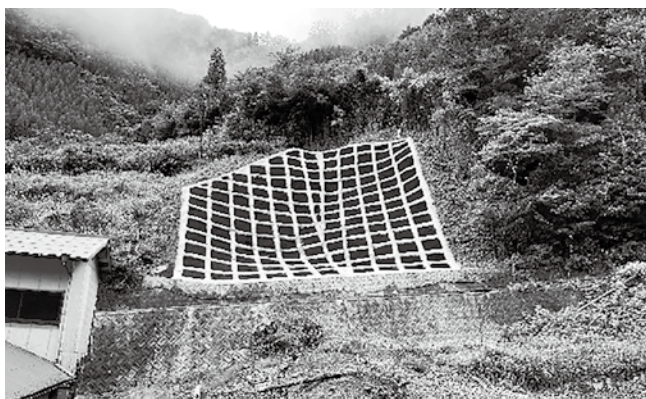
これらの国の方針を背景に、本村の令和7年度一般会計当初予算は、40億8,500万で、対前年比では、災害復旧事業の進捗により、14億5,400万円、率にして26.3%の減となったが、過年度の災害復旧費が10億8,030万円で、予算総額の26.4%を占めている。

事業内容としては、台風災害復旧を最優先に、生活福祉や高齢者、子育て支援の充実、商工業活性化支援や、U・Iターンや関係人口の構築による移住・定住の支援、地域DX・情報発信や新価値創造の具現化を進めるなど、「新生諸塚」として住民の視点に立った予算編成となっている。

本村の財政基盤は依然として弱く、厳しい財政運営が予測される中、第6次諸塚村総合長期計画(第3期諸塚村人口ビジョン・総合戦略)を村づくりの指針とし、引き続き、財源の確保と適正な執行を期待して、総括意見とする。

個別意見

1. 台風災害の早期復旧と災害に強いむらづくり
2. 若者が住みたくなる魅力的なむらづくり
3. 地域資源を活かした新規産業の創出
4. 地域DX・GX推進による情報発信



林道矢左右線完成



村道橋平川の口線完成

村政を問う!

一

般

質

問

《今回3名の議員が質問をしました。》

①人工芝野球場の今後の
利活用について

黒木健議員

問 現在、人工芝野球場の利活用ほとんどされていない状況である。近年村内に増え始めている多くの愛好者が利用できる打ちっぱなしのゴルフ練習もできる施設にしてはどうか。教育長に伺う。



竹内教育長

答 現状は、人口減少に伴い、野球場としての利用

頻度は格段に減ってきているのは確かである。しかし、ゴルフ練習場を運営している自治体があるのか、どのような形で改修をすれば練習場として使えるのか、費用対効果など様々な問題がある。管理運営方法、安全面などクリアすべき課題も多くある。現時点では、ゴルフ練習場もできる施設にするのは、困難だと考える。

黒木健議員

問 費用の課題があるのは、十分理解している。問い合わせしたところ、経済産業省の電源立地地域対策交付金は使えるが、スポーツ庁と独立行政法人日本スポーツ振興センターは、ゴルフ練習場としては、助成は難しいと受けとった。管理運営は、他県の例として、シルバー人材センターが行なっているところもある。ゴルフ愛好会が村体育協会に入会し、その中

で運営はできないかという話もあるがどう考えるか。

竹内教育長

答 野球場をゴルフ練習場にすることは、現状では困難と考える。そのほかの場所ではどうかの検討の余地はあると考える。

黒木健議員

村内ゴルフ愛好者ともいろいろと話し合っており、是非、前向きに検討してもらい、皆が楽しめるような村にして頂きたい。

①産業の振興について



尾形浩一議員

問 木材加工場の閉鎖は、村民に大きなショックを与えた。そのような中で、加

工場の再開に前向きな検討がされているようだが、何としても実現して欲しい。村長の覚悟を伺う。



藤崎村長

答 木材加工センターの存続に向けては、諸塚木材加工センター在り方検討会を立ち上げ、これまで7回にわたり検討を進め、耳川広域森林組合長とも直に事業継承に向け、協議を行った。

今後は、FSC森林認証材の製材に特化した木材加工施設としての生き残りを目指し、構造材から板材を主力とした製品への方針転換を行うなど、新たな方針の下で、本村の林業立村の歴史とFSC森林認証の理

念を融合させた諸塚村産材に共感を呼ぶブランディングに取り組んでいく。

尾形浩一議員

問 村民のアンケート調査で、FSC森林認証などの特色を生かした村づくりについて、「5年前より進んでいるか」の間に、「思わない。そう思わない」を合わせ50%を超えている村は、これだけ農林業にてこいれをしているが、その思いが村民に届いていないと感じた。

全体を底上げでなく、特化した部門でもう少しメリハリのある予算の使い方をすべきではないかと考える。

藤崎村長

答 今回、加工センターの製材の操業が停止しているが、逆に言えば、千載一遇のチャンスを迎えているかもしれない。FSC森林

認証の認知度を高め、産業振興に生かしていくには良い機会になるのではないかと外からいろいろな話も来ているので、そのような方々と連携をしながら、認証を生かしていく取り組みにつなげていきたい。

尾形浩一議員

この認証材のブランドを是非とも村民一丸となって作り上げ、残していつてもらいたい。

①本村の新規産業の取り組みについて



甲斐弘昭議員

問 現在、新規産業として、大径化したクヌギ・ナラの原木を活用したギター制作、レーザー彫刻機導入

によるセンダンの原木を利用した木工製品の開発、東京での特産品販売促進資源開発での取り組み状況報告があった。これらの取り組みの進捗状況と、今後、新規産業として考えているものはないのか伺う。

藤崎村長

答 取り組みの進捗状況は、村内のデザイナー、地域おこし協力隊、林研グループ等の構成でプロジェクト会議を立ち上げ、様々な視点で地域資源の商品開発の取り組みを推進する体制を整備した。

どんぐり材のギター制作は、新聞やマスコミにも取り上げて頂いた。村産焼酎に加熱処理したコナラのリキュール、八角樽型サバーの施策も行った。現在、コナラ大径材の供給に向けたストック販売を実証中である。彫刻機は、各種記念品などオリジナル商品として

て提供もできた。

今後は、新価値創造プロジェクト会議を主体に将来的には村独自のブランディングを進め、村民一体となった六次産業化を目指していく。

甲斐弘昭議員

問 付加価値を付けた新規産業として取り組んでいる中で、村長が今も最も重視している、期待している、今後持続可能な取り組みとしてどのようなものがあるか。現時点での考えは。

藤崎村長

答 基本的には、本村最大の資源である森林を生かした取り組みが一番くる。今後の展開としては、具

体的には、農事組合「えしろ」のぶどう山椒への取り組み、もう一つは、国内の漢方薬品メーカーからの打診によるクヌギの皮を原料とする生薬の取り組みにつ

いて勉強会を予定している。新たな自然エネルギーの活用について、今後とも関係機関と連携して取り組んでいきたい。

甲斐弘昭議員

いろいろなまた取り組みも計画されているようだ。幅広く軌道に乗せることは、大変だと思うが、一番は人材、担い手の確保が一番の課題である。

今後、プロジェクトを中心にどのような対策が必要か。村内の新規産業として、持続可能な取り組みが、今チャンス時期と思うので、議論を重ねていきたい。



総括質疑（予算）そこが聞きたい！

山本多喜弥議員

①土木災害の国庫負担金について

問 国の土木災害復旧事業は、原則的に3年間で工事を終わらせる必要があると思うが、繰り越しができるのか？

建設環境課長

答 現在、国庫事業で発注しているものについては、事故繰越という手続きがある。まだ、発注していないものについては、4年目の措置が取られるかどうか、国から回答が来っていない。県には報告をして、協議を進めている。

山本多喜弥議員

②森林環境譲与税について

問 森林環境税は使い切ることはできないのか。

村長

答 現在、耳川広域森林組合の木材加工センターの存続に向けて検討しており、そこに機械設備をする必要

があり、森林環境税を活用する見込みで、基金の積み立てを行い、活用していきたい。

山本多喜弥議員

③ふるさと納税返礼品について

問 返礼品は、もう少し魅力あるものを増やすことはできないか？

村長

答 現在、新価値創造の取り組みの中で、外部の協力も頂きながら、木工製品とか拡充に向けて取り組んでいきたい。

山本多喜弥議員

問 食料品が人気が高いようなので増やしてもらいたい。

村長

答 本村も牛肉、鶏肉は対象にしている。他の自治体では、鰻が相当なパーセントを占めている所もあるが、本村では難しい。視野を広くして対応していきたい。

黒木健議員

①土捨て場の確保について

問 災害復旧工事に関連する土捨て場の確保はできているのか？

建設環境課長

答 現在のところは、随時、地元と協議し、仮置きとか、土捨て場の提供を受けて、工事を何とか進めている状況である。

黒木健議員

問 地元の人とどのような協議をしているのか？

建設環境課長

答 所有者の方に連絡をとり、現地で土の置き方とか協議を随時行っている。

黒木健議員

②奥地方面の災害について

問 奥地方面の災害については、見落としがあった所もあるようだが、今後どのような工事をやっていくのか？

建設環境課長

答 奥の方にある災害に

についても、少しずつ申請を行いながら、復旧ができるよう進めていきたい。現在は、4年災、5年災、6年災の復旧を優先にさせて頂く。

黒木健議員

今後は、ドローンとか活用もして地元住民が生活しやすい様な環境を作って頂きたい。

田原尚美議員

①エバーグリーンの処遇について

問 エバーグリーンも給与が上がり、福利厚生面でも手厚い補助もあると聞いているが、社員もだんだん減ってきている。会計年度任用職員にすべて移行した方がいいのかという思いもあるが、村としての考えを。

総務政策課長

答 エバーグリーンと会計任用職員との違いは、基本的に任用職員は、1年契約、エバーグリーンは平成13年に設置にした就業規則を基に終身雇用で退職金も支給される。任用職員よりも処遇面を優遇するという基本的考えの下、雇用している。

田原尚美議員

②せせらぎの里入所基準について

施設に入所したくても入所できない。同じような家庭環境でも、入所判定会の中で入所を優遇される人とそうでない人の不公平感があるという話も聞いている。考え方を聞きたい。

住民生活課長

答 施設の定員は49名で現在の入所者は29名。どこかの施設も入所者が減ってきている。社協の運営連絡会を開き、このままでは少し経営的にも厳しくなるということで、せせらぎの里入所の規模とかを含め、どのように持つていくか協議をしている。

田原尚美議員

問 同じような家庭環境で入所できる人とそうでない人があり、明らかに入所基準がおかしいと感じることもある。

入所基準に合わないのでは、よそに頼まざるを得ないといった状況もあり、高齢者福祉センターの使い方も含め、村の高齢者は、全てせ

せらぎで預るというような、施設を満床にする位の気持ちで今後取り組んで頂きたい。

住民生活課長

答 せせらぎの里については、4月から新体制になるので、できるだけ村内に入所できるよう協議を進めていきたい。

田原尚美議員

問 本村では、令和6年度中の出生者が4名と聞いた。次年度はゼロかもしれないという危機的な状況である。全国的な問題でもあるが、その状況について課長の捉え方を伺う。

住民生活課長

答 本村の子育て環境は、他の自治体よりかなり良いと思う。出産祝い金の増額、出産・子育て応援交付金、母子手帳交付で5万円の申請、生まれてから5万円の給付がある。

不妊治療も県と併せて補助をしている。現在は、そのような事業を進めていくことと思う。

田原尚美議員

本村は子育て環境は十分

整っているが、まだ不妊治療に手厚い助成ができないのか。諸塚で子育てがしたい、そのように思わせるような魅力ある村づくりに注力して頂きたいということをお願いする。

尾形浩一議員

①水道管の保守管理について

問 30年以上も前の地元の設備になるが、木の根が送水管に支障を来している。村内にもそのような状況があると思うが、早めの対応をお願いする。

住民生活課長

答 地元で引いている水道については、補修等については、補助があるので、一緒に現場を確認し、対応を考えていきたい。

尾形浩一議員

②村民の意識調査について

問 村民の意識調査で諸塚に住み続けたいか？の問に5年前と比べて6%下がっている。自治公民館活動も天皇杯を受けるほどの活動が評価されたが、時代と共に村民の意識が変わっ

てきている。これに対してのどのような啓もう啓発がされるのか？

教育長

答 自治公民館としては、組織の在り方について令和7年度から話し合いをしていく。今後の地区行事の在り方については、各公民館で考えていく必要があると思う。

尾形浩一議員

産業と違い、すぐに結果が出るものでもない。住民の気持ちに寄り添いながら、今後指導をお願いしたい。

甲斐秀樹議員

①集落の水管理について

問 水源の改修とかをして頂いているが、水源地の水不足が否めない。新たな対策がないものか伺う。

住民生活課長

答 水源地を新たに作ったが水が足りなくなった場合は、別の水源地の確保とか相談があれば対応していきたい。

甲斐秀樹議員

集落、地域の方と一緒に何か対策を考えて頂ければ

と思う。井戸を掘っても水量が足りない話も聞くので難しいとは思っている。

甲斐秀樹議員

②地域の自主防災について

問 地域に整備されている消火栓から水が来ないという事例もあった。消火栓等の整備をお願いしたい。

総務政策課長

答 日頃から消防団員には、消火栓の整備、老朽化、消火栓ボックスを定期的な確認のお願いをしている。そのうえで漏水、ボックス内の機具がない場合は、役場に連絡をし、復旧、補充を行うこととしている。予算の範囲内で、緊急性等を考慮して整備している。

甲斐秀樹議員

③土捨て場の確保について

問 5月から盛土規制法が施工され、村内での土捨て場の確保が益々困難になってきている。広域的な土捨て場の確保ができるか。

建設環境課長

答 県から盛土規制法の

説明が、美郷町であり、そのような話も出ていた。

今後は、民間事業者が補助事業の経費で算定できる事業の取り組みや単独事業であれば、土量を多く出さない、土を逆に使うような工法とか工夫しながら広域的な土捨て場については、県とか近隣町村で協議していきたい。

甲斐秀樹議員

村内の他の事業に関しては、なるだけ砂防堰堤の堆積土砂とか崩壊してきた土砂とかを有効に活用して頂きたい。

甲斐弘昭議員

①協同組合諸塚ワークについて

問 現在、何事業所が登録されているのか。組合員数は何名か。どのような課題があるのか。また、現在の運営状況と今後の展望について伺う。

企画創生課長

答 現在の職員数2名、8事業所が組合員である。経営状況については、特別交付税と村補助金を経費の2分の1支援している。

農作業であるとか、その職員とマッチングしなければならぬので、令和6年度は、主にファミリーマート、村観光協会、社会福祉協議会で業務をしている。運営については、もろつかワークの理事会で検討させて頂く。

甲斐弘昭議員

②池の窪グリーンパークの活用について

問 令和7年度は、具体的にノーベーション計画に取り組むとの予算説明があったが、その計画はあるのか？

村長

答 池の窪グリーンパークの再整備で一つのプロジェクトとして考えている。天空の癒しの森として、森林空間を活用した徹底的に木と森にこだわる施設づくりを目指したい。

今年度中、九州内のキャンプ場を運営している所に観光協会と研修にいく予定にしている。

甲斐弘昭議員

問 観光協会の職員が定着しない状況があり、事務

局長が一人で切り盛りをしているような感じを受けている。職員のやる気につながる事務分掌の見直しも含めて、考えていかなければと思うが、どのように感じているか？

企画創生課長

答 観光協会を辞めた人もいるが、事務分掌のことだけでなく、いろいろな事情があったようだ。

観光協会でもハローワークを通じて、また移住者に声をかけながら職員の募集を行い、現在、正規職員5名、臨時職員が池の窪グリーンパークとどんこ亭で勤務している

甲斐弘昭議員

正職員が5名もいるというのだが、あの方は誰ですか？というようなことがないように観光協会職員も村民となるべく混じって頂いて、諸塚の観光資源を広くPRしてもらいたい。

岩本國和議員

①農業用水路の施設整備について

問 猟師藪地区の施設整備を令和7年度に計画して

いるが、中組の水路も台風被害を受けているので、併せて修復をお願いしたい。また、他にはこのような所はないのか伺う。

建設環境課長

答 猟師藪地区水路の次に中組をその国庫補助事業に乗せて実施する予定であったが、そのような不具合があれば、一時的な対応になるかも知れないが、考えていきたい。

岩本國和議員

②村有林の有効活用について

問 村有林は800haあり、その内80%が主伐期を迎えている。来年度は2haの伐採計画をしており、単純計算で320年かかるが、村民の財産なので、有効活用して村民に還元して頂きたい。

産業戦略課長

答 来年度2haの伐採計画だが、現在の蓄積量、山の状態、搬出経路を総合的に判断し、伐採の計画を立てようと協議している。伐採計画、村有林の有効活用について対応していきたい。

岩本國和議員

椎葉村辺りは、入札にかけて業者が落札し、出すという話も聞いている。この巨大な面積を100年も200年もかけて、伐採するのはもったいないと思う。早めの対応、対策をして頂きたい。

③国道327号のトンネル工事に伴う土捨ての確保について

岩本國和議員

問 トンネル工事に伴う捨土場所の候補地はあるのか伺う。

建設環境課長

答 県土木駐在と現地を確認した。全てを処理できるような土捨て場ではないが、一応、来年度、候補地の簡易な測量に入り、どれ位の土量を処分できるか調査する。全然、土捨て場が足りない状況であるので、県土木、西臼杵支庁に連絡し、調整をしていく。

岩本國和議員

諸塚村民の悲願のトンネルである。そのようなことに対して、全面的協力をすることが、本村の立場で

あるので、工事がスムーズに進むように受入れ準備をして頂きたい。

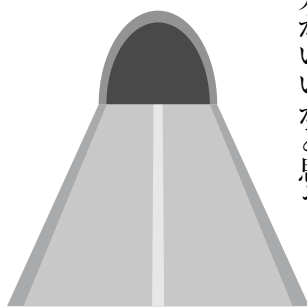
岩本國和議員

④国道503号工事に伴う業者の宿舎について

問 大きな工事なので、工事現場の宿舎、事務所が必要になってくると思う。旧七ツ山小の校舎辺りを宿舎として、活用できないのか、一般質問をしたが、動きが見えないので伺う。

村長

答 基本的には、業者の方で考えられることになると思う。七小校舎の活用については、今、地元と教育委員会の方でも協議を進めている。その辺りの進展を見ながら、具体的な活用方法も出てきているので、当面はそちらを優先させた方がいいかと思う。



一 議会活動報告 一

月	日	行 事 名	参 加 者	場 所
1	3	二十歳のつどい	全議員	中央公民館
	6	消防出初式	全議員	総合運動公園
	11	例月出納検査	議会選出監査委員	役 場
	13	市町村対抗駅伝大会	全議員	宮崎市
	14	県庁へのあいさつ回り	全議員	宮崎市
	19	日向地区諸塚ふるさと会	議長・副議長・山本議員	日向市
	22	九州中央道沿線議会提言活動	議長	福岡市・東京都
	24	九州中央道建設促進期成同盟会総会	副議長	五ヶ瀬町
2	30	宮崎県町村議会議長会議員研修	全議員	美郷町南郷
	5	三村議会要望活動	議長	宮崎市
	10	北部広域行政事務組合議会	総務・産建常任委員長	延岡市
	11	門川町制90周年行事	議長	門川町
	12	例月出納検査	議会選出監査委員	役場
	13	臨時議会・全協	全議員	役場
	13	県町村監査委員協議会総会	議会選出監査委員	宮崎市
	17	入郷地区衛生組合議会	総務委員長	美郷町
	17	日向東白杵広域連合議会	議長・総務委員長	日向市
	19	県町村議会議長会定期総会	議長	宮崎市
3	26	議運・全協	全議員	役場
	27	郡議会議長会定期総会	議長	門川町
	10	例月出納検査	議会選出監査委員	役場
	12	第1回定例会 本会議	全議員	役場
	13	本会議・予算審査特別委員会(～21日)	全議員	役場
	14	委員会審査	全議員	役場
	17	委員会審査	全議員	役場
	19	委員会審査(まとめ)	全議員	役場
	21	本会議(最終日)	全議員	役場



宮崎県町村議会議長会議員研修



三村議会協議会要望活動



予算審査特別委員会

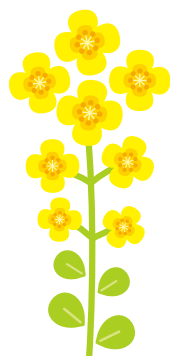
随想

中田 政雄

近頃になってよく思うのは、立ち上がる時も含め、速い動作ができない事で自分の祖父さんや祖母さんのことを思い出すことがよくあります。

若かった時には、年を取るとどうなるのかと考えてもみませんでした。が、感じる事が多くなりまして、「年を取る」をウェブサイトで見てみますと、年を食う、老齢になる、老いるとあります。年を取ると一年が早く感じるようになるとか、顔が大きくなるとか、色々な事が言われています。

何故一年が早く感じるかは脳の活動が多いほど時間がゆっくりと流れる様に感じ、逆に活動量が少ないと、時間が早く流れる様に感じ、脳の活動が増える事によって時間がゆっくりと感じるそうで、新しい事に挑戦する機会に乏しく、同じ事を繰り返す毎日だと脳の活動量は低下し、段々と老化していくことになるそうです。要は子供の頃のように何か新しい事にチャレンジすることが必要だということですので、心がけていこうと思うこの頃です。



議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は
六月開催の予定です。
お気軽にお越しください。
お待ちしております。

お問い合わせは、議会事務局
☎ 六五一―一三〇

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。

今年の春は、特に朝と昼の寒暖差が大きく、皆さん体調管理が難しかったのではないのでしょうか。

私は、家庭菜園が趣味で畑に行きますが、自分が育てた野菜は、愛着があり、格別に美味しく感じます。

野菜づくりも天候に左右され、また肥料の過多や過小、害虫や獣害、空からの鳥の天敵もいますので、これらを掻い潜って、たくさん野菜を収穫できた時は、この上ない喜びです。

いろいろな事が原因で、うまく育たないこともあります。が、これからもめげずに身体が動く限り、地産地消をしていくつもりです。

今年が、平穏な一年でありますように祈念します。

(編集委員)

甲斐 弘昭 甲斐 秀樹
山本多喜弥 黒木 健